

堂に入る

野球人最高の荣誉とされる野球殿堂入りの表彰式は、7月のオールスター第1戦で行われます。この「殿堂入り」は「堂に入る」の代表例といえるでしょう。「堂に入る」は修練を必要とする技芸などについて、高い水準に達した状態を差しますが、転じて「彼女の英会話は堂に入っている」などと、すっかり身につけているのを褒める時にも使われます。『論語』に「堂に昇りて、室に入らず」とあるのがその典拠です。中国の住宅では「堂」は応接間、「室」はその奥の部屋のことです。「堂に昇る」より「室に入る」方が物事の奥儀を極めた状態を意味しています。夏目漱石は正岡子規に昼寝の効用を説いた手紙の中で「貴殿すでに昼寝の堂に陟(のぼ)る、よろしく、その室に入るの工夫を用ゆべし」と書いています。よって「堂に入る」は高い水準にあるとはいえあと一步ということ。何かを極めるには読書が役立ちます。金商図書館もあなたを応援します。

旧図書館の中庭に、地球上最古の花木といわれている木蓮の木がありました。歴史ある金商高校に学ぶみなさんが、心も知識も大きく美しく成長することを願って、図書館だより「木蓮(もくれん)」をお届けします。

新着雑誌

『蛍雪時代 7月臨時増刊号』

蛍雪時代
推薦・AO入試
合格対策号

●推薦・AO入試の過去問・小論文・面接対策ができる！合格するための記事が満載！新年度各大学推薦・AO入試情報も速報！

図書委員がすすめる

読んで得するテッパン本

『黒蜥蜴』江戸川乱歩著

とある宝石商が所有する国宝級のダイヤと宝石商の美しいひとり娘を手に入れようと企てる美しく恐ろしい女賊「黒蜥蜴」。娘の身辺警護の依頼を受けた明智小五郎。それぞれは想像のつかない策でお互いを騙し合います。不思議で壮絶な対決が描かれている推理小説です。(34H)

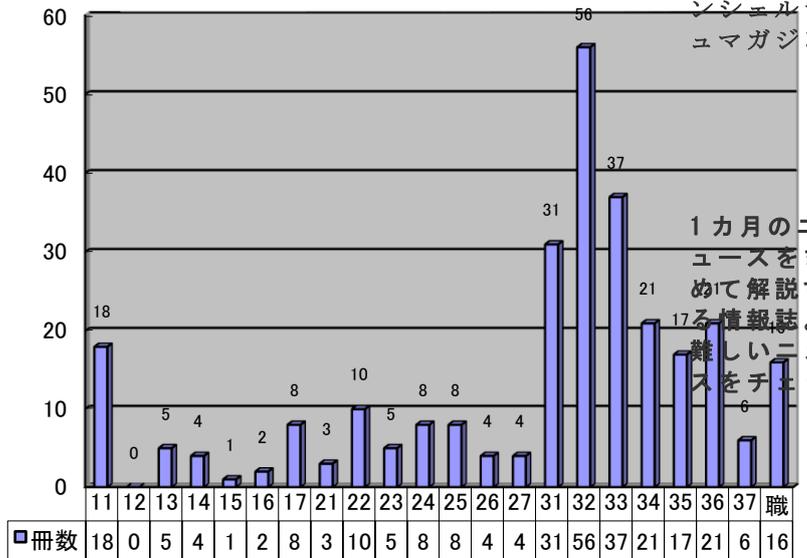
『告白』湊かなえ著

我が子を校内で亡くした中学校の女教師がタイトルだけを見ると怖い感じがしますが、読み進めるうちに意味が分かり始めます。偶然拾った1冊の文庫本からただのクラスメイトだった桜良と仲良くなります。二人の掛け合いも好きです。ラストは涙で文字が読めませんでした。(34H)

『Another』綾辻深月著

この本はホラーミステリーというジャンルですが、ホラーよりミステリーの要素の方が強いと思います。ホラーが苦手な人も面白く読むことができると思います。(35H)

図書館利用統計【6月1日~6月30日】



6月の図書貸し出し総数は285冊でした。開館日数は21日で、1日平均にすると約13.6冊の貸し出しです。学年別では3年生が189冊、2年生が42冊で、1年生は38冊でした。入館者の総数は2,913人で、1日平均約139人の利用でした。図書館での授業は53時間ありました。忙しい中、3年生は隙間時間を利用して読書を楽しんでいるようです。1.2年生の良いお手本です。

*文化講話を開催しました！

6月17日(金)におこなわれたPOP講習の参加者は39名でした。「やりがいを感じた」「面白かった」という感想がありました。優秀者3名にプレゼントを進呈しました。

*選書会をしました！

7月1日(金)にカボス大桑店に選書会をおこないました。参加者は6名でした。

ありがとう

寄贈していただきました！

*株河村様より
『北国新聞縮刷版』

DVD5月号』